歳入歳出予算の概要

平成26年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算の総額は、７億6,000万円で、前年度の６億9,000万円に比べて7,000万円の増となり、伸率は10.1％の増となっています。

後期高齢者医療制度は、２か年度を１つの財政運営期間として保険料率を算定することとしており、今年度保険料率が見直しをされたことにより保険料は増となり神奈川県後期高齢者広域連合への納付金も増となっています。

歳入については、保険料は３億9,457万円で前年度に比べ3,503万円の増（対前年度伸率9.7％増）、一般会計繰入金は３億6,417万円で3,477万円の増（同10.6％増）となっており、その内訳は、過年度医療費精算分が新たに増えたことにより医療給付費定率負担が２億8,199万円となり2,527万円の増(同9.8％増)、保険料の軽減分が5,893万円で924万円の増（同18.6％増）、広域連合の事務費負担金（共通経費）が992万円で20万円の減（同2.0％減）、町事務費が1,334万円で47万円の増（同3.7％増）となっています。

歳出については、後期高齢者医療広域連合納付金は７億4,541万円で、前年度に比べ、6,934万円の増（同10.3％増）となっており、納付金の内訳は、保険料負担金が３億9,457万円で3,503万円の増（同9.7％増）、保険基盤安定制度拠出金の県負担分が4,420万円で693万円の増（同18.6％増）、町負担分が1,473万円で231万円の増（同18.6％増）、広域連合の事務費負担金（共通経費）が992万円で20万円の減（同2.0％減）、過年度医療費精算分が新たに増えたことにより医療給付費定率負担が２億8,199万円で2,527万円の増（同9.8％増）、延滞金が1万円（同0.0％）が主なもので、歳出全体の98.1％を占めています。

最近年度予算額

（単位:千円）

年　　度	歳入歳出予算額	平成22年度を100とした指数	対前年度伸率
平成　22　年度	660,000	100.0	2.3 %
平成　23　年度	629,000	95.3	△　4.7 %
平成　24　年度	675,000	102.3	7.3 %
平成　25　年度	690,000	104.5	2.2 %
平成　26　年度	760,000	115.2	10.1 %

歳入歳出予算　前年度対比表

（歳　入）　　（単位:千円　%）

款　　別	平成　26　年度		平成　25　年度		比較増減	対前年度伸　率
	予　算　額	構成比	予　算　額	構成比		
1.　保　険　料	394,566	51.9	359,539	52.1	35,027	9.7
2.　繰　入　金	364,170	47.9	329,397	47.7	34,773	10.6
3.　繰　越　金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
4.　諸　収　入	1,263	0.2	1,063	0.2	200	18.8
歳　入　合　計	760,000	100.0	690,000	100.0	70,000	10.1

※構成比は端数処理の結果、計が符合しない場合があります。

（歳　出）　　（単位:千円　%）

款　　別	平成　26　年度		平成　25　年度		比較増減	対前年度伸　率
	予　算　額	構成比	予　算　額	構成比		
1.　総　務　費	11,338	1.5	10,875	1.6	463	4.3
2.　後期高齢者医療広域連合納付金	745,410	98.1	676,073	98.0	69,337	10.3
3.　諸　支　出　金	1,251	0.2	1,051	0.2	200	19.0
4.　公　債　費	1	0.0	1	0.0	0	0.0
5.　予　備　費	2,000	0.2	2,000	0.3	0	0.0
歳　出　合　計	760,000	100.0	690,000	100.0	70,000	10.1

※構成比は端数処理の結果、計が符合しない場合があります。